

令和7年度 園経営のグランドデザイン

大分大学教育学部附属幼稚園

「幼児教育」のモデル園づくり

重点目標①

「共にそだつ」保育の実践と自己課題の解決

○保育者と幼児が「共にそだつ」ための環境の構成や援助の在り方に課題をもち、進んで研修と修養に取り組む

実習・研修参加者の課題解決に寄与

○実習や研修参加者に、研修効果や自己課題の解決を実感してもらえるような内容と方法を工夫し、検証・改善する

「社会的ニーズ」に添う園づくり

重点目標③

「働き方改革」を取り入れた業務の遂行

○業務の精選、時間配分など、タイムマネジメントを心がけ、限られた時間の中で業務を遂行する

各種情報提供と「子育て支援」への貢献

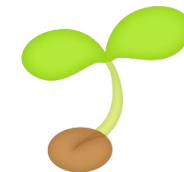
○幼小連携の在り方や、保護者支援、地域の子育て相談など、地域に対してできる支援を実行し、情報提供する

主体的・対話的で深い学びは「遊び」の中に

自分たちで

自分から

自分で



3歳児



4歳児



5歳児

・身近な環境に自分なりにかかわり親しむ
・安定した気持ちで、友だちと時々かかわりながら遊ぶ
・いろいろなことに興味をもち、自分でしようとする

心豊かな
やさしい子ども

・身近な環境に興味や親しみをもち、大切にしようとする
・自分なりの思いや考えをもち、友だちと一緒に遊ぶ
・いろいろなことに自分から取り組み、一生懸命しようとする

工夫し遊びを
楽しむ子ども

・身近な環境に進んで働きかけ、親しみや思いやりをもってかかわろうとする
・共通の目当てをもち、友だちと遊びをつくり出す
・いろいろなことに意欲的に取り組み、自分たちでやり遂げようとする

明るく伸び伸びと
生活する子ども

教育目標：主体的に生きる子どもの育成

重点目標②

グローバル人材の素地「多様性を受け入れる力」の育成
～多様な人・もの・こととの出会いを通して～

《質の高い保育の実践》

- ・研究と研修の充実
- 研究主題「主体的な遊びを支える保育をめざして」
 - ⇒互見保育・自己啓発
 - ⇒教育課程改訂
 - ⇒保育者が主体的に進める園内研究の手法を探る
- ・研究協議会（公開研）の開催
- ・「リカレント研修」の実施

《県幼児教育センターとの連携》

- ・「保育実践事例」の県への提供
- ・県の初任研中堅研の受入
- ・幼児教育スーパーバイザーとの連携
- ・県の研修会への講師派遣
- ・教育庁チャンネルによる情報発信

《働き方改革》

- ・残業20時間以下/月の実現
- ・タイムマネジメント意識の醸成
- ・ICT活用による事務作業の軽減

《子育て・教育相談の充実》

- ・子育てトークング・個人面談
- ・オープンスクール

《地域の子育て支援》

- ・すくすく広場・お話しリボンの会
- ・園庭開放・絵本の部屋の開放

《各種教育・子育て情報の提供》

- ・保護者への情報提供
- ・県下他園や地域への情報提供